

「栃高の日」新聞 第16号

発行者：校長 大橋芳樹 発行日：平成29年7月14日（金）

🏆🏀 栃高サッカー部が快挙!! 🏆🏀

高校サッカーインターハイ栃木県予選で、本校サッカー部が見事に準優勝の快挙を成し遂げました。4回戦ではさくら清修高校、準々決勝では佐野日大高校のシード校に競り勝ち、6月24日（土）に栃木県グリーンスタジアムで行われた準決勝では本校と同様にノーシードで勝ち上がった小山南高校と戦い、2-1で逆転勝ちし、6月25日（日）に栃木県グリーンスタジアムで行われた決勝に駒を進めました。決勝では、インターハイでベスト4や選手権大会でベスト8の戦績を誇る真岡高校と戦いました。結果は1-4で敗れましたが、試合終了間際にヘディングシュートで1点を返し、栃高の意地を見せつけました。また、県立の男子校同士の戦いということもあり、ハーフタイムには両校が一緒になつての応援も行われ、大変素晴らしい試合となりました。多くの栃高生、保護者の皆様や先生方の声援をいただき、ありがとうございました。

	対戦校	スコア	勝敗
2回戦	茂木高校	6-0	○
3回戦	宇都宮北高校	2-1	○
4回戦	さくら清修高校（シード校）	1-0	○
準々決勝	佐野日大高校（シード校）	2-1	○
準決勝	小山南高校	2-1	○
決勝	真岡高校（シード校）	1-4	×

他の部活動も頑張っています!!

サッカー部以外の部活動も頑張っています。高校総体などで全国大会、関東大会を勝ち取った部活動や県で上位の成績を修めた部活動を紹介します。チャレンジの結果が現れました。

<全国大会> 書道部、囲碁将棋部（将棋）、空手道

<関東大会> 陸上競技部、水泳部

<県大会準優勝> ソフトテニス部

<県大会ベスト8> 硬式テニス部

王将



** 7月生まれの「偉人・著名人の名言」 **

<明石家さんま> (1955年7月1日~)

1955年、和歌山県牟婁郡古座町（現：串本町）に生まれる。本名、杉本高文。実家はさんまなど冷凍海産物の加工業を営んでおり、それがきっかけで『さんま』という芸名を付けられる。芸名から分かるように、1974年2月、落語家として笑福亭松之助一門に入門したが、『落語のできない落語家』として主に形態模写などのモノマネや漫談をやっていた。1970年代から毎日放送の「MBSヤングタウン」「ヤングOH オー」にレギュラー出演し、若手芸人として人気を集める。1981年に放送が開始された「オレたちひょうきん族」（フジテレビ）のメインコント「THE タケちゃんマン」で2代目ブラックデビルを演じ、一気に注目される。また、「笑っていいとも!」（フジテレビ）の金曜レギュラーとしてMCのタモリとのフリートークコーナーが人気を博した。有力株として注目された頃、『お笑いBIG3』としてビートたけし、タモリとともに活躍していた萩本欽一の人気低迷し、自主休業をしてレギュラー全番組を降板した際に、たけし、タモリと共演し対等以上の実力を見せていたさんまが、『お笑いBIG3』入りした。以降日本が誇る『お笑い怪物』として今でも業界の第一線に立ち続けている。一方、俳優としても「男女7人夏物語」「男女7人秋物語」（共にTBSテレビ）で主役を演じ大ヒットさせる。そこで共演した女優の大竹しのぶと1987年に結婚し、一女いまるを設ける。「オレたちひょうきん族」が1989年に放送終了となり、大竹しのぶとも1992年に離婚するなど一時的に人気低迷したものの、「さんまのからくりTV」（TBSテレビ）の成功で再び軌道に乗り始め、「踊る!さんま御殿」「恋のから騒ぎ」（共に日本テレビ）でさんま対複数人という脅威のフリートークバトル番組を成功させ、大御所として君臨するようになる。寝ないことまで有名で、「寝顔を見ると口止め料として金一封が貰える」「本当はロボットなんじゃないか」「ジミー大西がさんまの家に住まわせてもらった際、丸2日間全く寝かせてもらうことができず3日目にととう倒れてしまった。さんまはその間一睡もしなかった」等の噂が立っている。

生きてるだけで丸もうけ

※3歳の時に母親が亡くなり、火事で大切にしていた弟を失い、自分も事故で命を落とすかも知れなかった(番組の収録が伸びなければ、1985年8月12日に起きた『日本航空JAL123便墜落事故』の飛行機に乗る予定だった)という悲壮な過去を背負っている。この言葉を縮めて一人娘に「いまる」という名前を付けた。

およそ30年、芸風変わってないからね。すごくないよ。これアカンことなの。人は進化する生き物として神様が産んでくれたわけですから

見る人が“このオッサンら、ようやるわ”と思うてくれたら、強い

独りてがんばれるのは簡単な。結婚して、嫁さんがいて、子どもがいて、浮気もせずちゃんとすごし、家庭も幸せにして、テレビも面白い人が最上級やろうな

暗い人がちょっとでも笑うように、なるべく俺が出てる限り明るい画面を、お届けしたいという、そういうポリシーで生きてるから

責任感だけでやったら、とんでもなくウケたんです

天才が努力したら、これはもう鬼に金棒ですけど、凡人が努力したかて、その努力に敬意を表するとしても、勝ち負けは『努力』の要素だけで左右されるほど甘いもんやない思うんですわ。特に超一流の世界ではね

笑いもオーソドックスのほうがやっぱり面白いんですよ

追いつめられた時には追いつめられた時なりのギャグいうもんがあるんですわ。人間、どんなに沈んでいても笑うんです。葬式の日でも絶対笑えるんですわ。こらすごいことですよ。でもホント

俺は幸せな人を感動させたいんやなくて、泣いている人を笑わせて幸せにしたいんや。これが俺の笑いの哲学や

追い詰められなきやダメなんですよ、なんでも仕事は。ゆっくりやるとロクなことないですね

20代の借金は貯金や

何とも思われたいよりは嫌われるほうがマシ、好きに変わる可能性が残っているから

人間生まれてきた時は裸。死ぬ時にパンツ一つはいてたら勝ちやないか

俺は、絶対落ち込まないのよ。落ち込む人っていうのは、自分のこと過大評価しすぎやねん。過大評価しているから、うまくいなくて落ち込むのよ。人間なんて、今日できたこと、やったことがすべてやねん

やろうとすれば出来んねん、人間みたいなもの

私生活からアイデアを出して、それをどう脚色していくかが勝負やと思ます

※何事も「ひゃっ!ひゃっ!」と笑い飛ばしている印象を受ける明石家さんまだが、よく聞いてみると意外と含蓄のある話をしていて、感心することがある。「オレたちひょうきん族」の明石家さんまは誰よりもひょうきんで輝いていた。ビートたけし演じる「タケちゃんマン」の敵役として「ブラックデビル」だけではなく「ブラックデビル Jr.」「アマダばばあ」「ナンデスカマン」「バーデンネン」「妖怪人間知っどるケ」などを演じた。



「栃高の日」は「とことんチャレンジ」

7月の「栃高の日」は、私は

【】にチャレンジします!

*【】の中に自分で選んだものを書き入れよう!

チャレンジ満足度 [5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1]

*一日を振り返って、チャレンジ満足度を5段階で自己評価しよう!

本校歴代校長の肖像画の話①

栃高は本年度創立121周年を迎える県内屈指の伝統校です。国の登録文化財となっている建物が校内に三つもある高校は全国的にも大変希有な存在となっています。生徒諸君が学年集会や講演会などで利用する講堂も国登録有形文化財の一つですが、この講堂にはまた全国的にも珍しいものが存在します。それは歴代校長の肖像画です。本校のように創立から長い歴史を誇る高校では第2次世界大戦前の校長の肖像画が残っている学校もあるようですが、第2次世界大戦後現在に至るまで歴代校長が写真ではなく肖像画で残されている高校は全国的にも本当に珍しいようです。そこで、本校歴代校長や肖像画について調べてみました。まず、歴代校長の氏名と在任期間、肖像画の作者を一覧表にしてみました。

初代校長	氏名	滝川重太郎	作者	渡辺 幽香
在任期間	明治32年4月6日～明治34年3月30日			
第2代校長	氏名	劉 須	作者	橋本 邦助
在任期間	明治34年3月31日～大正3年12月27日			
第3代校長	氏名	依田 義三	作者	橋本 邦助
在任期間	大正3年12月28日～大正11年4月16日			
第4代校長	氏名	遠山 政三	作者	橋本 邦助
在任期間	大正11年4月17日～昭和2年3月30日			
第5代校長	氏名	梅田 三郎	作者	橋本 邦助
在任期間	昭和2年3月31日～昭和5年7月24日			
第6代校長	氏名	篠崎 源三	作者	橋本 邦助
在任期間	昭和5年7月25日～昭和8年8月15日			
第7代校長	氏名	小林 政一	作者	清水 登之
在任期間	昭和8年8月16日～昭和14年8月30日			
第8代校長	氏名	土田 長助	作者	清水 登之
在任期間	昭和14年8月31日～昭和16年7月21日			
第9代校長	氏名	森川 立也	作者	福富 実
在任期間	昭和16年7月22日～昭和21年2月24日			
第10代校長	氏名	寺内 貞亮	作者	福富 実
在任期間	昭和21年2月25日～昭和24年4月14日			
第11代校長	氏名	野沢 寅	作者	福富 実
在任期間	昭和24年4月15日～昭和37年3月31日			
第12代校長	氏名	廣木 政雄	作者	福富 実
在任期間	昭和37年4月1日～昭和42年3月31日			
第13代校長	氏名	渡邊 隣	作者	福富 実
在任期間	昭和42年4月1日～昭和44年3月31日			
第14代校長	氏名	生井 武司	作者	小林 源次
在任期間	昭和44年4月1日～昭和51年3月31日			
第15代校長	氏名	鈴木 章介	作者	小林 源次
在任期間	昭和51年4月1日～昭和54年1月20日			
(代行)	氏名	林 実勝	作者	
在任期間	昭和54年1月21日～昭和54年3月31日			
第16代校長	氏名	大嶋 正	作者	小林 源次
在任期間	昭和54年4月1日～昭和58年3月31日			
第17代校長	氏名	長島 正和	作者	半田 勝久
在任期間	昭和58年4月1日～平成元年3月31日			
第18代校長	氏名	清水 英世	作者	半田 勝久
在任期間	平成元年4月1日～平成2年2月6日			
第19代校長	氏名	江連真木夫	作者	半田 勝久
在任期間	平成2年2月7日～平成4年3月31日			
第20代校長	氏名	篠原 義明	作者	小久保 裕
在任期間	平成4年4月1日～平成9年3月31日			
第21代校長	氏名	武井 元尹	作者	半田 勝久
在任期間	平成9年4月1日～平成13年3月31日			
第22代校長	氏名	橋本 武	作者	金子 亨
在任期間	平成13年4月1日～平成15年3月31日			
第23代校長	氏名	岡田 修	作者	松村 厚史
在任期間	平成15年4月1日～平成18年3月31日			
第24代校長	氏名	田島 一利	作者	小久保 裕
在任期間	平成18年4月1日～平成20年3月31日			
第25代校長	氏名	稲葉 実	作者	金子 亨
在任期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日			
第26代校長	氏名	上岡 利夫	作者	金子 亨
在任期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日			
第27代校長	氏名	大橋 芳樹	作者	?
在任期間	平成28年4月1日～			

本校歴代校長の肖像画を描いた作家は9名で、描いた肖像画が多い順に並べると、橋本邦助(②③④⑤⑥)と福富実(⑨⑩⑪⑫⑬)が5作品、半田勝久(⑰⑱⑲⑳)が4作品、小林源次(⑭⑮⑯)と金子亨(⑳㉑㉒)が3作品、清水登之(⑦⑧)と小久保裕(㉓㉔)が2作品、渡辺幽香(①)と松村厚史(㉕)が1作品となっています。<作家名の後ろの()内の丸付き数字は描いた校長の代を示す。例えば、①は「初代」、②は「第2代」を示す。>

本校に縁のある作家としては、半田勝久(68回生)、小久保裕(68回生)、金子亨(68回生)、松村厚史(91回生)が本校卒業生で、福富実が本校旧職員となっています。また、清水登之は、1901年に栃木県立栃木中学校に入学しますが、卒業前に陸軍士官学校への進学を志し成城学校に転校します。そのため、本校の同窓会名簿には5回生の「会友」として記載されています。1906年に成城学校を卒業しましたが、陸軍士官学校を受験に失敗し、翌年には単身渡米しています。1912年にオランダ人画家フォッコ・タダマが同地で開いていた画塾に入門し、1917年にはニューヨークへ移り、アート・スチューデント・リーグでジョン・スローンらの教えを受けます。一時結婚のため帰国した後、再渡米の翌年の1921年に第34回アメリカ絵画彫刻展に「横浜夜景」が招待出品され、一旦は受賞が決まったものの、アメリカ人でなかったことを理由に受賞を取り消されてしまいます。その後、1924年に一家あげてフランス・パリに移住し、三宅克己、藤田嗣治、海老原喜之助、清水多嘉示らパリ在住の画家たちと交わりながらサロン・ドートンヌで入選する栄誉に与ります。1927年に帰国してからは東京を拠点に活動し、1930年の第17回二科展で「地に憩ふ」により二科賞を受賞します。1932年に従軍画家として活躍し、戦争を題材とした多くの絵を描きました。



※校長室には清水登之による「栃木中学校風景」と題された100号の大作があります。左下には「清水登之」という署名と「昭和十年十一月二十八日」という日付が書かれています。

* * 数にまつわる話し④ <完全数> * *

数にまつわる話し第4弾は、「完全数(perfect number)」です。「完全数」とは「その数自身を除く約数の総和が元の数に等しい数」をいいます。現在までに知られている完全数は49個あり、全て偶数で、一の位が6か8です。完全数を小さい順に示すと、6, 28, 496, 8128, 33550336, 8589869056, 137438691328, 2305843008139952128(19桁), 2658455991569831744654692615953842176(37桁)、...となり、小さい方から6番目の8589869056で10桁を超える数になります。2016年1月に発見された49番目の完全数は、451129962706...557930315776という数で、44,677,235桁の数だそうです。完全数の発見の歴史を調べてみると、小さい方から4番目までは古代ギリシアの数学者ユークリッド(エウクレイデス)により紀元前4世紀に発見され、5番目以降は15世紀以降に、10番目以降は20世紀以降に、39番目以降は今世紀になってから発見されたものです。それでは、古代ギリシアの数学者ユークリッドが発見した小さい方から4番目までの完全数6, 28, 496, 8128について検証してみましょう。まず、6については、自分自身を除いた約数は1, 2, 3で、和は6となり、完全数であることが分かります。次に、28については、自分自身を除いた約数は1, 2, 4, 7, 14で、和は28となり、完全数であることが分かります。次に、496については、自分自身を除いた約数は1, 2, 4, 8, 16, 31, 62, 124, 248で、和は496となり、完全数であることが分かります。最後に、8128については、自分自身を除いた約数は1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 127, 254, 508, 1016, 2032, 4064で、和は8128となり、完全数であることが分かります。興味のある生徒諸君は、上に示した5番目以降の完全数についても検証してみましょう。紀元前より研究の対象であるにもかかわらず、偶数の完全数は無限に存在するのか、奇数の完全数は存在するのか、一の位が6か8以外の完全数は存在するのか、などは数学上の未解決問題となっているそうです。

